慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

· ·	
Title	原始基督教の社会思想
Sub Title	
Author	高橋, 誠一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1923
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.17, No.8 (1923. 8) ,p.1370(30)- 1404(64)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19230801-0030

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

0 51 固 1 吾 h 人 初 圳 は 基 是 督 n 敎 t 6 0) = L τ ン W 3 p, J. 认 = ズ 0) 經 ړ, 13 過 Ŀ る 述 b ~ 0 は tu 㑊 Č す 用 る 0 = ン 3 Л. =

て、所 價 受 精 U 0) لح 總 3 ८ 17 工 r 9 分 有 言 頂. W 基 ~ 前巾 ス 持 者 t T 共 χ. V 督 J) カジ 有 1: 间 5 あ る t 0 ۲, 1 ___ 同 共 敎 第二 來 5 物 智 生 所 ク 0 图 > = り、之 ず 以 尚 活 τ E 12 敎 0 2 其 己 竟 T 在 支 徒 經 B 3 (κοινωνία) 第 配 n 25 食 0 濟 は 何 6 ٦. 四十二二 r 事 總 物 H T 4 心 生 = 使 智 G 活 ~ 8 何 心 胸 ズ Z 徙 爲 謂 400 n て を rf; から 厶 Dri 麵 等 l 同 智 棋 畑 は 12 で 12 + ず、總 釶 叉 0 甜 3 皷 U b 斷 は 四——六節,又 r 足 72 共 共 0 吹 13 な < 1: 壁さ F ~ 事 有 11 L せ 3 かっ τ 10 家 T < 質 聊 12 3 つ 共 Z 置 長 <u>ب</u> 3 18 L を 是 ₹2 ° 產 n یخ 3 讃 時 明 有 動 n 主 た抑 7 爸 美 حح 示 使 7 間 齑. t 義 る 共 面 L 神 祈 す 徒 不 b 的 30 4 人 17 B 奉 殿 虅 原 行 助 b 有。 信 其 は 9 بخ 傳 更 1 產 理 彼 て、人 Z 者 12 3 0 τ 居 12 中 ¥ りで彼 用 *L 努 b 賣 0 の n 12 因 家 民 あ 8 群 り、画 ţ 軰 等 强 0 る 簤 浆 --n 4 は 大 7 何 12 等 b は 般 斯 常 1 K な 統 は 隨 7 间 0 麵 < 0 0 12 20 制 I. 其 S 中 心 心 用 1 使 麭 同 ¥ w 7 0 1 E 智 信 徒 同 胞 サ 12 5 分 賣 蝶さ 意 獲 仰 鸰 は 應 変 n w 12 H n ----3 砂 じ ح す・ 人 0 り云云 人 人 7 る 3 1: 與 τ 敎 團 喜 B b 於 物 A 體 7 ^ B 芝 非 ໃ 12 ¥ 0 间 イ け 的

(一三七一) 論 貮 原始基督教の社會思想

第十七

. H.

ズ

ム

で

あ

9

(二三古()) 耽

原始基督教の社會思想

原始基督教の社會思想

高 橋 誠 源

の足下に致す可含もので religieuse, v., "Les Pauvres.") 初期の基督教徒は先づ 「弟子」「貴人」を意 き者」「TTWXos)なる文字が 期基 等 自身の 督 数 塱 物質的窮迫とに 味するもの の 間に行 Hochardt 3 あ は であ 0 n 12 たる j る 9 ことを肯定し τ 基督教 主張するが 生 何 じ 0 會 12 共 は る 産主義は 如 無 b 其 得な 一物 く、 ~ Ø 0) で TJ. 所 ブ 47 あ イエスの富に b 有を賣りて、其の價を使徒 ル語 とし る。 し際 本來の 設 τ 12 令 → (Études d'histoire 於て SY. 意義に於ては 霏 關する敎旨 は 斟 共產 中の「貧 主義 حح

彼

n

初

乖

徒を

助

するが

爲

め

10

彼

n

等

I:

對して寬大な

る施拾

を勧告するに

11:

め

72

加

的であ

った。

而も其の信

徒

0)

數

を

増加する

12

至

つて、教會

はエ

サ

0)

貧

L

3

し

て其

0

財

政

0

豐

र्द्ध

13

る

12

Æ

つて基督教

曾

は

叉

た不

動

產

所

有

習

級

rþ

(

列

るに

至

三〇

他 蕒 愛 0 カマ 事 有 等 し (路 3 b く、温か 1: 却 期 ع Ţ な 12 Ŀ せ < は 帶 加 使 非 せ 宗 待 る 今 íï 3 は 固 も之 th. 傳聞 0) る 徒 敎 者 Þ æ ひ 物 漁 で 3 大 例 貧 行 12 的 富 Ŀ 夫 ガ I. 汝 H Ŀ 慈 傅 由 献 め 者 分 C 等 を y w 0 看 善 る b 身 病 5 あ サ 墩 ラ E 章第三十三節 出す 家 記 者 7 0 者 合 つ 遣 ふ ご r V 0) 者 北 念 13 9 120 0 に 4 L ے ج 例 13 w 0 對 爲 12 於 12 ۲, 1 r 力 共 燃 の L 斯 め 集 け 時 分 困難 僅 え 同 T ば で 1-< 3 n 事 13 72 か 彼 0 最 備 あ C 址 3 0) (· 同第 15 15 财 る 12 る。 彼 1 大 基 缺 0) 「 イ b 綤 ح 等 な る n 售 督 H 十四四 恐 L 件 12 0 る 等 0) mi 居 敎 た I. 12 の 中 對 5 艬 問 B は g 團 3 ス 章第三十三節第二十 曲 办 12 L < 題 牲 彼 彼 雕 0) <u>-</u> 彼 る 舉 在 7 は から は n 經 ح n tu n Ø 多 げ 2 叉 其 困 等 等 要 濟 有 等 0 7 T 大 12 難 0) 0 浓 0 HJ b 12 之 か。「爱に 是 15 基 لح 數 鹟 せ 間 常 L 日 n n る 督 5 爲 Z から 1: 職 p CA E 貢 かゞ か n 2 增 家 は さ、答 Ŀ H 特 爲 献 益 12 120 加 族 棄 極 る クプ 筆 智 速 め す 的 . め は 二章 12 行 12 u 大 τ る 彼 坜 生 7 1 我 鳥 書 共 復 2 5 12 n 活 遠 大 言 n 第 生 L 0) 12 歸 等 Ø 連 で < Ŀ £ 财 三十 n τ 不 0 す 如 0 n 持 來 ð 有 無 な る 助 で 可 多 T 續 \$ n 9 旅 Ã. カマ B る 產 あ L 數 事 共 72 し、共 る 囊履 節。 v る。 9 E 態 7 は 同 農 ッ゛ す 篕 做 同 0) 3 は の 夫 彼 物 1 6 L 裕 胹 す 爬 食 所 若 3 然 11 包

第十七卷

ヘニュセミン

脑

說

原始基督教の社會思想

徙

彼 疋 第 居 3 13 3 3 8 の Ħ 12 4 9 な 當 基 0 \$2 間 n 0 等 意 72. 初 督 T かっ で で 12 ば م ب * 逧 は 敎 は わ あ 寬 0 **J.** なり」と る。 彼 用 る。 第 8 120 傳 宏 N 13 B は n 播 四 サ t) 仁 使 祭 る V 0 記 福 9 彼 慈 1 かる 音 72 ° 歷 3 J. 4 n 徘 Ø 七 書 史 共 は Z ス 行 n 0 精 飾 苑 0 0 0 信 たるが z 長 親 傳 phi 4 主 B 同 物 存 徒 か 傅 L 大 0) (父 第 福 生 は ^ 年 噩 な Ŀ 为 1. る rf1 彼 月 Æ. h b 如 N = 1-Jţ. 所 E n حي 12 w し 力 \$ 在 0) 滨 42 通 等 し 隔 サレ 0 事 は 第二 9 家 壉 U τ かゞ C 手 實 间 族 9 7 L 主 其 ٨ 71 爸 第 > 間 0 7 彼 12 1 0 基 錄 顯 四 七 之 欲 督 は n **I.** 筆 著 彰 於 2 曾 望 n ح ス 第 E け n な つ 17 E 其 ح 金 16 る る 72 三十二三 τ 對 想 0 共 泥 初 0 0) 方 乏 す 見 12 + 12 直 期 傳 法 は L る 九 1 弟 營 浸 詍 基 凡 12 \$ 節 办 3 子 十 め し を 督 4 於 ٢ 如 1 8 3 72 . 述 敎 紀 7 四 ح ζ. x. 8 から 生 0 團 べ 元 表 13 で ス 23 六 財 活 で IJ 終 0 出 囊 を かっ あ + は あ n 生 th 五節、最 る。 邲 ____ 0 其 る b E 持 活 る 120 30 L Ø) 共 續 竓 10 彼 Ł 弟 Ŀ 同 L 頃 n 目 過 初 何約 承 子 丽 1: 12 业 と ž 0) は 認 0) 12 翰 し 3" 看 更 t 信

72

彼

n

鹆

は

共

0

所

有

物

梦

賈

b

T

施

拾

¥

行

ひ、己

n

p;

爲

め

1-

常

17

古

び

3

る

金

鑿

r

7

帺

過

る

造

が、悲

3

3"

る

孙

資

E

天

12

蓄

ふ可

É

b

0

で

あ

9

12

其

處

44

は

盜

人

В

近

づ

<

ことな

ない。 し + 7 3 の なりと。 叉 六 如 τ 兄 tz 長 弟 3 年 聖 老 ļ 1: 結 彼 書 等 n 裥 論 h 1: 第 等 は [ii] 助 智 八年 五章 彼 贈 は 爸 鹫 n n 别 肥 固 等 第 個 りと 5 な 12 12 の 6 Ŋ. ----ん 生 Z 間 事 n し 齑 51 ኢ る * U 共 四 し B 定 る バ て、共 節。 同 め の ð V 是 遂 經 ス 0 同 n 而 濟 12 で チ 2 L 12 的 あ ナ で 消 る。 あ 生 n 0 てアン 大飢 費 産 る。 r 弟 L の 途 同 行 テオ 子 饉 12 げ 等 第 12 0) は 7 際 ケに で n -谷 18 N あ 12 4 L τ 於 軰 る 力 る。 ナ 第二 事 収 v 12 11 質 る基 應 ح n を毫 る + じ ナ 九三 態 督 τ ゥ 敎 b 度 ユ μ 朗が 物 4-は *5*1° ح 節。 叉 諨 p 0) 紦 に 72 0 手 元 斯 7. āħĨ 住 12 叫 Z 托 < め

(ibid.) で 1900, S. schaft 0 浆 は 根 し 扪 强 得 des Gebrauches) 12 なかつた。 226.)° 尘 き慢性 る Roscher 書 權 中 利 12 的 然 で 0 貧 は は 自 し 所 12 th 鹟 13 言 I. な 過ぎ ינל な E 23 n 0 る 喚 5 9 サ 如 変 旭 是 720 2 < V 0 n 3 世 最 Z b 敎 13 b (Wilhelm Roscher, Grundlagen der Nationalökonomie, 發 初 會 と b 動 0 0) 做 0) で 拗 基 で 梭 す G あつて あ 督 彼 ず此 年 つて 敎 0 n 徒 義 0) 貧 财 0) の 務 困 主 柳 產 財 0 ح 張 C 貨 0) 财 共 训 は は 共 貨 貨 な 有 ţţ 有 共 共 0) か は (Gemeinschaft des Eigenthums) 有 當 有 つた、少く 單 Ċ. 智 か 12 r 得 使 Æ. 渱 2 N 用 <u>ح</u> る 結 サ Ø ð 共 L V 貧 ? 0) 有 Z, 23. Aufi., で 比 0) (Gemein-0) あ あ 團 要 る。 る 體

第八號

第十七卷

(一三七五)

論

邠

原始基督教の社會思想

三五

三四

r 族 あ の人 賣 る。「使 b τ 3 其 徒 也 行 の フ 傅 價 は 第 E 使 ĮΨ 11 徒 章 t 等 銷 驱 ょ = り、之 9 + ٠\^٥ 六 n jν 七 を ナパ、譯 節 使 徒 等 C 0 足 慰 下 め 12 の 子 置 ع V h 膟 من ば 云 n 点 12 3 Ġ かゞ (1) 燗 即 5 0 是 有 b n C

成 U 有 内 CA か 0 3 Ŀ 3 名 は 25 Ţ 鼠 文 に 然 8 业 1-U 妻 若 際 あ t な 翩 ~ ~ る。 13 B ラ 得 L 3 L ラ 9 L 7 12 同 u h < τ 25 U 12 然 ۲ 3 3 云 盒 は ナ 共 5 0 = ぞ。 ح 不 の 17 N 13 3 言 何 1: 葉 E 文 7 全 非 v τ 人 ず 其 努 Ø) لح 財 ፘ る 畑 7 は や、何 產 の は 這 め 共 共 雕 0 ナ 畑 價 般 12 漨 0 r b 7 = ぞ 0) る 主 7 婓 共 0) ナ CA ----1 坜 有 = 智 5 義 同 切 法 サ 0) 3 7 詐 制 由 基 呼 的 ツ 5 4 共 事 L ば 3 本 h から 法 r. 其 る 15 r 時 存 6 制 產 彻 ラ 移 主 は 0) 在 0) 0) 心 故 1 0 サ 幾 す で 物 す 義 汝 侵 12 人 Ć 的 分 其 る 犯 企 の Ø あ 語 ~ 30 7 物 圣 0 8 植 12 12 ン ح 民 L 12 持 奜 非 就 Ŀ 40 ぞ、汝 7 L 11 5 サ な ず 要 地 į, て、賣 T 12 來 L 浆 8 ッ か ナ 7 觀 t) 於 O) Ľ. 5 = 誘 b 7 G け 欺 5 7 ラ 純 は L 3 12 る لح 眞 1: \$ n 使 る n 则 *'*200 7 徒 共 對 な > L 彼 τ 確 5 b 如 は 後 等 那 13 な n L く、之 人 鱞 7, 等 0 \$ 0) 3 7 で 3 價 枚 證 71 足 0 Ŀ 發 n 非 欺 15 左 寬 は 犯 S 0 せ 1 E 仁 ず É 畑 な は 12 せ 5 亦 加 畑 置 E 0 る d) L 汝 入 す 7 躛 n 名 9 0 \$ 罪 0 す 剻 權 價 譽 12 b な は

0 清 ح った。 者を 爲 其 る Ž U 12 號 る 淨 弧 解 0 使 め が め 由 所 b 基 烈 釋 潔 業 徒 で 如 召 6 n 載 0) 督 な 智 亚 É 自 し、致令 彼 あ L 3 る 拙 敎 13 と、漲 る 行 n 者 っ 給 ۲۲ τ 智 稿 ħ\$ 對 A ウ r ひ、文 は 揃 0 者 た。「哥 原 其 L 格 召 n 智 目 U は は Ø 始 T 以 は 3 多 L 的 0) 12 世 35 基 說 發 無 C 使 人 は 給 る 林 有 0) かっ 生 督 Do 類 凡 產 各 命 多 る S 17 S. 恩 0 敎 n 階 変 妫 前 者 ず、有 在 人 は L ø, 當 E 12 る 書 ٤ の 全 13 級 9 r な ي د د 祉 時 第 的 極 耐: 120 胸 世 **b** る 滅 力 1-會 界 會 共 b 裡 者 者 1 it 於 問 階 な 產 12 0) 章 z 彼 蓋 題(下) W は Œ C ع 級 第 基 主 n 凡 L 8 召 多 12 富 傳 12 ИD ___ 義 は 督 斯 之れ か ч し 貴)参照)。「兄 取 + 道 的 福 多 3 < G 咖 給 傲 六 要 的 2 音 生 國 ひ、弧 ず、貴 の は 岸 を述べた。「三田 素 熱 T * 忧 民 如 世 な 垫 情 Ø 以 U 0 Š ż る者 0) る 弟 _ 背 ځ 安 τ め、而 間 者 は 贬 等 社 居 後 17 + 1: 何 を よ、汝 L は 會 1: 由 ح 切 し 基 儿 人 4 愧 階 3 看 押 9 τ 節 0) 督 者、農 b 等 か 級 L T 做 後 꿰 L 0 人 6 め 學 ょ 0) 然る 徴 遣 L 宗 間 0 イ 覛 ん す。 召 會 示 9 25 敎 削 ኟ 1: بتت せ b, 3 雜 120 也 て、神 對 を K. 5 誌第 1-ス 刦 X1. 5 弘 买 す 鵩 ろ 0 る L 9 是 點 n る 精 布 邦 者 5 Þ τ 貧 は + 0 狐 n 12 す 者、即 꺠 人 3 世 七 騆 を 智 等 泻 る 牒 13 E る 6 看 Ø) 者 識 卷 Ø) 彼 13 な 12 L 對 5 獡 ょ 鬼 ん 第 を 要 8 te 7 在 す から 肉 六 な 無 戽 \$

(一三七七)

論

Ħ

原始基督教の社會思想

三七

時

間

0

延

長

等

0)

如

3

は

是

n

で

あ

ଡ଼ (Walter Rauschenbusch, Christianity and the Social Crisis,

(二三七六)

三六

敎 75 續 程 Ø. 0 Ž ני 有 . 8 層 資 は 徒 度 畑 を の は 事 つの叙 階 叉 E で かさ 本 8 質 或 嫌 賣 其 級 12 忌 z 高 U で あ 0) 0 る。 述 他 B 2 す か は あ 貧 5 り、教 3 手 0 創 τ をも發見することが 困 造 馴 諸 し 其 部 0 之れ す 迫 n 原 の 會 U 分 語 縖 る 這 L るこ 因 對 12 氣 1: r 生 及 12 般 於 價 關 を 業 び مع け 得 基 す E の 認 を 經 な 12 寬 -3 V め 3 雕 濟 で < 般 宏 噩 る ること 唯 n 的 B L あ 鰋 信 仁 たる C 不 5 0 出 慈 0) 0 徒 安 5 で 失 12 來 0 力 23 典 てど、若 定、有 が、彼 ば 消 基 あ 0 な 出 據 い。 3 る 費 < 兆 驚 12 • 福 カコ n 1-B 13 る 1 L 斯 顋 B Ø 0 供 Ħ 0 5 ル < 著 夘 で 營 で Ž < L 力 は あ 13 n あ 示 そ 利 た 0 0) 宗 る. 300 กู 資 な 9 現 は 記 如 敎 人 本 Ġ 3 72 で 彼 述 13 17 は יל ば あ バ 丽 n 1 は 供 0) Ġ 8 彼 V 共 つ 1 12 單 奉 移 ス 他 同 72, n 知 取 は な L 住 チ n 方 は 生 2 毫 る 7 ナ ガ a B 10 產 τ 推 B Æ, 勞 y 12 於 12 庤 道 jν は 渝 働 τ ラ 於 對 全 珳 サ IJJ 般 に E 鹟 け る P す 體 d' 0 過 V 廢 乏の きざ 3 人 0) 3 12 0 财 Į, する ----基 生 办 何 美 貨 0 般 持 等 Įţ. 3 活 銷 共

第 主 **ታ**ነ 爲 ጀ あ 八九九 す 義 つた。「縦 め る る 者 12 B で **澂** ح 非 0 グずし ح あ で な 馬 2 扪 あ 丰 (72 12 T つ 第 唯 た。 ۶۲ F. 然 + ĸ y ゥ 同 Ħ. エル U r. U 章 な は 第 人 第二 自 から 闸 サ + 身の 5 學 V 八 十六、七節、哥林 认 節。 上 Ļ, 爲 0 1= 0) 貧 於 斯 > め (C 7. し ゥ あ は \$ T U 9 急 霏 彼 す 多 6 12 進 徙 n 削 尚 主 0 は 書第 13 爲 再 彼 義 者 め n び 12 般 で 共 + 12 六 醵 產 は 1-あ 諸 淮 章 仓 主 2 第 物 定 E 義 75 が、社 皆 Y 华 的 な 6 團 め 偿 備 3 會 な Ξ は る 的 1 8 12 欂 り て 飾 から 12 同 過' 如 は 成 餘 < 保 後 3 少 書 守 な h b 脏

會

間

題

13

對

L

T

冷

從

15

る

b

の

で

は

13

b

9

72

傅 0) から 0) ツ 改 造 弟 子 御 本 D イ で 質 + 子 J. は 世 Ħ. あ 多 的 人 ス N 章 13 り、イ 間 す 73 第 致 0) 人 縞 6 儿 惜 同 稻 B 工 め 節、加 1: 萬 胞 ス・起 2 說 的 提 般 給 V 72 關 0) 拉 督 は 唱 ず、却 太 1-係 4 關 書第 1 在 猶 係 3 太 0 B 17 9 三章 於 人 す 0 7 T 13 3 7 皆 我 B 変 延 第二十八節。 な n Œ 1 等 邦 0) ı 3 で 1-人 原 ス まり b 此 同 理 0 る。 r 0) 奴 敎 0 隷 反 爲 旨 靈 「羅 復 * 化 凡 8 め Z 質 馬 12 自 的 し 書頭 際に 꼐 Z. 國 120 祉 K 0 n 會 を付記 も、男 適 鰋 八 化 1 節 12 用 的 <u>۔</u> 第 В 簱 し L スが 原 = 女も、萬民 720 給 理 か + る 脏 ^ で > 3 被 あ 會 飾 间 者 n 的 0 悉 -----は は 過 便 12 M 父 < 徒 人 程 我 ょ 闸 類 行 Ŀ

第十七卷

(一三七九)

論

原始基督教の社會思想

三九

第十七卷 (一三七八) 論 説 原始基督教の社會思想

する 個 人 12 ٤ つて、そ 勝 素 生 の 值 は 2 は 限 無 0 せ 120 म् 彼 なりに り何 關 は ず 物 n ィ 心 質 と 彼 13 事 T. 的 做 勝 n 人 ス Æ で す **%**: 利 利 E の あ 俗 害 r v 智 L つ 界 間 容 信 τ t 碷 റ്റ് (M. Beer, Social Struggles in Antiquity, trans. by 0 仰 易 现 亚 5 保 櫊 ۶۰ 世 12 完 13 B 6 ゥ 力 全 的 し よって E 12 น し 諸 め ዠ 脫 ૪ め 制 72 使 確 戰 雕 度 12 の し、文 9 保 爸 t る で 12 f. 3 B 哑 あ <u>ک</u> 5 る。 0 12 0) 视 Ļ で 如 n は る。 何 あ で 是 彼 新 1-あ n る L n が、其 Z 3 等 這 0) つ * 般 72 敎 偉 0 D3 義 B 0 0 大 行 信 な 0 は 氲 ---A 大 iz 使 3 共 芯 仰 事 せ E 他 對 產 0 6 界 持 は す 主 弧 H.J. 固と 續 Æ 3 る 靈 義 す 观 義 反 的 1 献 Stenning, 1922, 乖 の 質 る 抗 か は 行 身 0 救 ٌدر は 12 的 蓋 共 機 ゥ 宜 U 緣 で Ø 打 U 存

p. 194.)° を與 بح 3 b 0) ウロ £, 道 r 三節。 3 カラ は 13 知 基 るこ 在 り、文た 督 彼 る 12 から ح n 依 も. 當 儘 þš つ の 貴 其 τ 狀 U の 0 態 鹟 さいこ 袓 切 を 1. 0 迫 以て ਣ 生 時 事 12 B < E 事 於 0 萬 行 足 7 4 方 N 法 n Ľ. 得 12 y b r 3 つ ٤ Ľ. 知 0 け す 0 人 で 1 ろ 0) 之 72 あ 3° Ŀ n 數 度 學 を 彼 h *(*) n 修 原 だ。 補 め は 助 立 720 飽 E 北 < 彼 ۲ 書 n 彼 謝 Z 第 n は 世 る は b 貧 DU は 覚 彼 賤 飢 自 第 12 n 5 居 + 12 る 0 力

受 ¥ し 耕 會 慈 體 2 ع あ 殊 0) 3 < 悲 g G b 72 12 T の す 作 羅 0 * 勸 者 る 福 智 n し 0) 敎 の 任 b 馬 N 乎。 權 て、各 祉 施 め ば T は 7 務 肢 人 豫 す 智 希 认 13 31 其 7. 720 12 あつて 貢 望 3 人 爲 言 遂 0 R の 贈 æ 献 す かし。「 は は 行 H 1 果 Ħ. 用 n 完 以 を 少 歡 人 信 L 個 全 12 七 r 3 る 仰 当中 濉 び は 人 7 食 肢 同 な な 0 τ 耕 律 n 總 勸 の 72 11 C V は る 3 か 施 U べ め 理 5 基 其 法 3 n 13 軍に τ 穀 は る す E 12 13 世 ば 督 0) 表 0) 可 爲 隨 構 物 鏃 者 3 な 敎 明 出 者 ٢ 成 E し 3 5 あ Z 的 世 て「汝、 部 で 0 ч 踏 與 B 3 かさ る。「蓋 組 5 同 爲 爲 分 > 3 ኢ 如 織 n n ん 穀 Po 己 第 Ų な 碾 め ば る (12 1 乖 12 物 þ す n 人 我 我 八 L 在 3 者 智 0) 强 竃 13. 役 我 ረ n 誰 n 30 9 < 做 B 財 第 吝 等 等 7 踏 は \$2 n す r 生 其 かっ 四 4 噩 等 は み 17 3 彼 費 羊 存 0 碾 な 役 0) < 各 賜 は n 思 す 艡 果 す r < 42 個 6 0 は 收 者 r B 與 想 4: 從 つ 八 12 人 人 人 主 は 節。 得 事 あ 0 0 S る は 類 は 治 體が 張 る B l 全 旣 口 7 恩 から # す 1 是 敵 0) r U 其 h 寵 13 過 有 ÿ る。 sp. 希 結 9) る £ 多 程 زر 機 15 12 ス ゥ 乳 望 於 者 < る ぶ 從 0) 的 ŀ 我 智 事 智 誰 7 人 П は 0) S 12 1. 以 乎 15 飲 n 部 懈 肢於 勿 n 於 は 7 j. ne 彼 7 帶 ŧ D> 敎 賜 あ 6 7 體 孙 す可 0 **3**" 葡 飲 ず n ^ r h 57 な 云 ч 13 る 葡 異 τ 8 食 は 治 る 9 à. 其 ţ 者 止 園 圣 特 縋 沚 め 13 0)

第十七卷 (二三八二) 論 批 原始基督教の社會思想

四

四〇

変 3 根 雕 節。 勢に 韶み、互 窗 し、 共 (同第十 ήή 本 は b n だ 12 自 כס 槪 力 深 愛 11: 12 泣 己 子であ 念 1 3 ず め は 輔 き、心 を迫 12 四十 b 得 ģ 0 ·神 可 0 相 B 3 他 3 前 0 害 E 推 る。 六 有 9 B 0 法 B 0 相 す 重 節。 ·t 力 0 如 で み 0) 3 し、希 间 歌 ~(~ あ で なら 何 あ で 者 U 柳 靈 る。 13 あ あ 13 る。 < 智 望 自 0 る。 い。(雑 3 る。 ず、衆 祝 し 12 G 國 被 死 高 し 我 t 0 も、生 質 造 视 人 3 b 民 n 際 馬 物 馬 0) し B T は 鈌 書第 的 B も、天 書 前 τ 思 歡 如 0 第 世 我 12 贶 び、患 は 何 精 八章 界 为3 使 -**|**-ず、低 8 ふことな 胂 な 的 b 主 善 難 8 3 = な 權 耶 章 な \$ 1: 事 共 る + 簛 蘇 勢 る **{**۵. 耐 42 情 八九九 基 人 も、能 く、喜 十 ب ا 甘 我 0 間 督 ጀ 乖 h n F 節。 を 0) 1-力 し、思 X 徒 等 12 同 賴 b + Λ 企 0 在 办 八 胞 愛 n 現 圖 K Ŀ 銷 9 痲 節、加 關 は 在 以 3 لح し Z τ Ø 係 T 洲 Ē 0 共 智 B 子 切 は 事 拉 0) 0) 凞 12 赈 兄 12 ゞ 変 ģ 太 0 荷 E 喜 弟 恤 ること ゥ 惡 ょ 未 を び、泣 報 L 0) を 第 Ħ 9 狹 負 奶 変 遠 征 六 0) 我 Ŀ 0 Ų る 1 to 人 服 彼 敎 n 事 章 **事**. 瞪す 人 Z 以 す 第二 旨 等 B 此 15 4 接 7 30 0) Z 高 0 < ٤ 待 相 る。

Secret Secret

祉 會 連 帶 主 義 0 根 本 觀 念 RD 5 總 體 8 L 7 舰 せ 5 12 12 る 人 頫 は 單 體 を 形 成 す

四

調 軋 務 不 3 移 h 夢 L 敎 轢 <u>ئ</u> + 智 可 和 Ŀ 會 12 τ 3: 以 說 分 的 L と は、夫 可 ッ 敎 3 0) 7 8 者 1þ 8 4 0 17 + 會 之 ح 關 又 45 J. 12 願 は 13 0 y 43 主 n ď 係 12 和 2 首 3 ス (二三八三) 者 構 120 r な あ 智 和 17 彼 ト 13 待し り」と 0 n 成 輸 從 る よキ し 12 X は 0 的 致 彼 福 کم τ 從 勿 1-す n 音 訛 奜 事 自 为 y 太. n 質 12 Ŀ < 進 る。 は ス 5 如 諭 から ζ, E 変 說 向 tr لح 其 如 ŀ 间 胶 敎 锨 0) 己 0 変 ζ: 0 3 から T 1-C 時 12 ^ ٠,٠ 敎 斐 體 n 法 原始基督教の社會思想 亚 に、夫 72, 则 0 1 ゥ ょ 8 會 0) 13 彼 居 亦 救 夫 r つ 0 r 一哥 主 12 3 は τ 作 n 愛 12 0 13 Ų 對 者 12 常 促 用 は 萬 17 從 羅 ょ 15 在 1: 進 人 . し 其 事 کھ 西 計 7 其 個 信 間 世 L 可 彼 夫 0) 第 は「夫 G 賴 y 女 0) し。 人 爲 12 n L る 從 せ 四 夫 は 及 L め τ. 12 12 3 章 な 1 夫 CK 12 ኤ 共 爭 る 闸 己 可 かき は 第 從 嫭 脏 しと 鬪 + 者 £ 如 親 會 愛 0 n 夫 八 < j. ij 脏 E か 7. 0 は ح 儿 混 不 斐 其 し、こ 福 會 訳 な 及 搶 節。 和 0) 亂 的 C < n 0 び 利 首に بح 婓 は か \pm 3 ば t 給 主 ょ 共 主 13 Ŀ 國 b 12 從 家 α 変 Ę . **b** 方 1 秩 b 0) 庭 は 3 す 觅 序 1-あ 相 ·· 102 事 V) 秩 如 12 可 3 E 然 Ħ. 其 序 方 间 1. 齎 U n 者 的 L n 的 汝 y 2 12 箏 對ば T 0 護

第八號

tnt Ξ

T

あ

る。「

汝

等

0)

中

12

靈

的

の

物

坐

嵵

3

72

る

我

n

な

맫

b

四 ر. ه 攻 槲 あ 業 苦 ינל < 3 人 於 3 る。 堅 淮 惰 1 智 U L 若 0) τ と. 第 す 我 13 働 7 τ B 悲 L 彼 8 七八八 一一 n る 3 \$ 行 範 人 礎 岩 働 ri 等 て己 B 貧 は r は「テ の r < 51 撒 飾。 者 は 0 3 彼 麵 勞 事 大 羅 活 で ጀ 3 n n 麭 侧 事 Ł ナ 尼 等 各 < あ 等 0) 者 智 12 否 な U 迦 個 3 る。 麵 あ 12 食 有 \$ 5 後 == < b 沉 人 3 麭 t す ば h ケ 書第 三章第 <u>.</u> ب は 主 何 遊 し **3** ° す 亦 人 ر م E 惰 ح 死 0 λ 却 食 120 12 34 爲 哥哥 12 3 な 8 つ 4 彼 食 贈 際 め 雕 る 然 傳 T す h n n 林多前 L 13 b 富 3 八 ځ 聞 3 彼 可 0) 者に C 活 己 12 1 --بح 徒 L かっ 後 n 4 É n 20 †2 ° 彼 等 5 め は 書第 5 0) 死 b 主 *L 自 書に ず 0) す 爲 址 及 斯 ح 那 は 6 九章 節) る 會 め び < 彼 A 命 蘇 ラ 於 b 12 遍 T 的 T Ŀ じ 等 基 n サ 第四、七、九 45 生 主 < 這 箏 日 督 彼 b U 12 個 り」と。 衡 3 く、我 0) 0 يـــ 1 n 煩 n 爲 己 切 I を > は 間 4 ば は 動 n 0) ウ 2 め 斯 12 人 15 n 汝 の 不 τ 12 5 l п 於 等 人 等 12 急 團 死 爲 德 0 命 T は 0 6 0) 汝 + 0 す な 根 め 如 體 C 妄 間 生 等 N ___ 肉 る。 的 本 且 4 12 る 存 b 16 13 節。 0) 的 進 死 祉 的 渚 9 爲 12 在 椛 rþ 0 維 步 す 會 經 勸 10 步 b r 1= め 丽 物 .IC 腻 的 る 濟 對 み 1: め L 主 do 任 z 影 誹 者 寄 法 12 L T 畫 胩 張 b 他 ĮIK 濼 第 生 則 V) は τ 何 仪 L 價 方 4 で + な 8 は 艄 0) 15 時 収

異邦 主 0 節。 督 成 邊 足 ----L 3 ス Jesus, を信 節)と 1 奴 1. る 釋 給 b 所 境 隷 於 mi 人もユ 0 紒 ラ 2 斯 N 12 1917, p. ずる 7 漂 12 τ 命 も総 助 る 3 る 儘 人 は C 3 力 > 0 * 12 に、神 ð る 15 自 r 12 べて人に ح 如 * 296.)° d; 曲 奴 ヤ人 り(同第二十二節)と附 由 ح し。 y 有 る「黄金 如 を b す ታ<mark>፡</mark> 隷 0) ス **沙奴** (印 () 7 身 3 ifii ŀ B < 得 律は 4 神 É Ħ 1-₹. B ば 0 5 爲 を召 0) 在 見 0) 源 由 ち 隷 人 え で 早 n 了. 女 彼 3 12 0 9 る。 ح 身 種 晚 Z નુક U h L し n あ 給 者、同 も(身 爲 ح n 3 Ŀ は (Charles 3 凡 7 0 の 基 欲 3 ゆ E 召 Z 分 差 す みと。 督 言 受 し 0) る 3 U >3 上の 信者 儘 別)割禮 < で し < 奴 3 ッ n Foster Kent, The Social Teachings of the Prophets and 12 あ 蒜 事 12 Ľ 可 U 12 哥哥 30 恙 C) 步 3 E 5 が、蓋 0 由 別)あ 時、此 妆 羅 b 新 颙 t 0) h 加 生 急 無 身 可 西 絆 か、之れ L 一哥 拉 る 書第三章 制 0) 0 12 奴 r b 太 事 原 偉 禮 隷 L 兇 人 林 書第三章 な も(即ち宗 理 7 12 n 42 3 r 總 V く、唯 前 τ r 了 爲 思 召 し L 說 第 0) 書第 3 2 T め、全人 せ U + きて 煩 15 艞 敎 主 n 高馬 會に 敎 萬 第二十 念 12 12 七 太 Ŀ 言 節 R 太 類 事 召 軰 D3 る の差 傳第 0 於 ふ弦 Ħ 勿 者 彼 3 r 六 7 F れ、然 釋 + X n n は 別)、夷 節。 に至 七 我 12 七、二 放 は V) # 12 滨 から 皆 萬 す n 諭 3 y 事 るに ٤. 敎 狄 b 者は 第 ہر な + 野 ス 基 若 ゆ ゥ ح b 7 0 + þ

(二三八五) 論 凯 原始基督教の社會思想

第十七卷

四五

第 ひ、公 j, ጀ 喜 丽 餒 100 子 ば 四 共 L Ź ľ る 嫋 41 15 章 n T. 汝 んと戏 向 ح を愛す可し、と数へた。 第 主 等 E h 彼 同 つて「子 以 人 何 とす n 時 節 τ 17 事 は め 13 共 對 を爲す 3 叉た 親 たる た。「哥 して 0 か; 1: 僕 奴 如 者 對 を待ふ は主 Ŕ < 隷 羅 ょ L 13 人 12 西 萬 ては「父 人 0) 间 書第 目 事 门以 म् 75 って「僕 爲 前 13 しょ る 汽三章 め 0 なる 於 弗 者 12 み て兩 所当第 よ、汝 戒 なる す 12 第 者 め てっか بح _ -|-よ、汝 親 T 等 思 者 12 \mathcal{H} B b へず、 よ、萬 は 等 從 一、二節以 章 る。 亦 ず、主 第二 へ、是 の た 純 事 子 一哥 天 0 + = 朴 12 E n 維 12 爲 於 怒ら 15 主 弗 主 τ 西 め る 所 0) 書第 あ 12 肉 書第 する 御空 心 るこ す 爸 身 意る = 以 ح 上 六 勿 t + 章 T と 思 0 章 適 n Æ. 第二十二三 E 主 ኢ 主 第 恐 太 節)。 知 可 Ł 人 6 から しと n 畏 17 < 故 彼 ば、義 從 n は、 n な 訓 7 四 へ、人に りと 其 は 節 節。 C ል 事 Ø 叉 3 訓 12

깜 事 め 敎 宜 h 使 徒 ع で 徒 0 す あ 0) 義 3 敎 る 務 10 會 於 銳 p: ۲۲ Įţ 意 ゥ JŁ 0 13 の Ħ 運 信 5 及 徒 命 L CX の大 12 事 他 # 實 0 部 6 新 は 分を奴 y 種 約 る 記 4 12 者 13 在 隷 75 る る 箟 基 及 こ と Ų, 句 督 貧 1: 敎 Ŀ ļ 徒 民 訓 # 9 12 ^ τ る ょ 72 明 奴 h 隷 得 か 帷 72 で を た る あ 主 る τ 23 ح 秩 面 序 は パ Þ を ゥ 疑 保 Z 分 は 72 万 Hi.

į, ح あ ح N 51 ahin る。 の 7 知 3 0 丰 爲 n حي 旨 议 天 す ば É r 1= 13 那 事. 由 衍 りして 所 在ま 斯 0 C 誹 し < 身 事 £ 說 12 鈅 0) ኢ 六 如 < る 3 事、人 滨 7 < ح ح 1: 同 8 第 人. 時 間 Ħ. 1-L 12 於 就 T 12 は τ ず 3 彼 他 谷 せ τ 方 九 n 偏な ず、主 節、 等 12 目 b 對 0 12 1-爲 給 威 L 丽 於 X 嚇 τ L U ÷ てい C は B 12 す る ح 主 加 な A 善 3 š V か る 12 æ し は ٤ 3 何 如 ン 13 者 3 知 ع n よ、汝 勿 b 42. KL 贈 ば n 快 主 n 13 3 其 等 J. 3 りと 非: は 世 b b Eļ1 亦 報 ょ。 彼 訓 12 S 12 n 5 等 奴 北 於 ^ は 隷 る لح 12 τ 汝 奴 可 ۲۲ 0 12 築 7 對 隷 L ッ

私 ۴, 願 宅 は 7 V 內 新 Æ 3 宗 1: ば ン 敎 は 汝 會 運 合 我 >; 73 動 ッ th 0) 膓 3 11 等 所 敎 0) 要 會 1. 如 12 0 ょ ? 貢 つ 13 献 員 7. 之 す で 変 n 3 あ せ Ŀ 6 所 受 0 大 120 n V な 12 h 同 事 b る 第 として U 其 0) b 勤 U) 稱 節。 勞 7: L あ 0 7 彼 3 9 助 力 る。 12 XL 者 で は 腓 で あ 即 あ Ġ b 利 5 b 門 其 叉 郜 0 訚 72 第 力 1 10 gered bromate 己 依 節。 0

U

は

逃

亡

L

7

基

督

敎

徒

ح

化

せ

る

奴

隸

オ

ネ

シ

Æ

z

其

0)

主

À

Ľ,

V

æ

ン

0)

許

12

送

還

邦 D3 人 ٠,٠ 12 致 ッ 赴 の n 3 即是 は 彼 Z 有 n し 名 等 C 13 JĘ: 3 は 猶 0 サ 太 右 n ٨. 手 サ 1 E V 至 彼 L n 會 5 2 議 h 18 つ ځځ iv 終 を ナ 13 識 於 18 Ų ح 1 唯 1: 使 だ 與 徒 4 p べい =1 = ブ ゥ ブ 等 لح H لح 0 ぺ 願 パ ラ 太 N u 所 ナ خع は ۴ر 3 لح バ ハ ゥ は ネ 異 と 17

第八號

(二三人七)

論

眈

原始基督教の社會思

四七

四六

九十 す 言 日 で ひずい <_6 12 Ŀ 毎き あ の ð 節。 b 僕: 極 事だ 3 祉 9 心 我 は 17 h 12 會 間 720 12 ず、物 n は す 拿 は 的 は 鸰 己 म् 泛 彼 差 這般 羅 ें के किं प्र を 0) n 町 别 馬 n 救 窃 0 の新 B 13 帝 主 办 主 金 b 存 國 取 な 人に 稱 0 然 生 ク 5 る す ح 何 な 唯 は 꺠 ず、之れ 從 .3 思 等 かっ 眞 朦 0) V E 9 ኢ の 4 朧 敎 何 得 矛 可 720 72 12 Z 12 たの 事 盾 る 忽 忠 飾 E な 遠 是 然 る 信 爲 で < 信 n E 3 すに E あ L 徒 1: 1 將來 る。 C 赯 て一總 た 由 τ す Ŕ Ŀ 3 Ø つ 興 「提 之 म् せ べ T 主 夢 起 8 壓 h n T 古 E 世 事 爲 太 を E 軛 非 來 3 前 め Ŀ 悅 基 ずし 有的 0 0) 次 勸 ば 書 τ 下 督 社 り」と。 第 to t) 3 τ 曾 17 殺 म् h 六 者 在 制 的 腿 ت 戠 は 度 共 前 「提 ح 兄 第 奴 10 和 17 3 ٽ を務 弟 隷 猶 國 躍 書 は 了 は 13 13 如 第 め、之 何 節 非 5 殘 於 72 1 と. 0 存 T る 澂 E n 叉 τ. 主 は 現 第 爲 42 12 2 2 何 質

聖 0 + 斯 意 y ۲۲ 1: < ス ウ 適 T ŀ U 悲 は 13 は 從 當 h 督 ح 太 敎 面 す 办: 12 かう 3 如 斯 奴 隸 妙 < 譋 如 1: 度 制 < 畏 度 E 12 n 掃 0 目 慄 滅 基 前 3 せ 礎 Ø) 罪 h 智 3 純 ۲. 成 12 な す 华 る 7 る る <u>ت</u> ح 事 心 原 E 則 ず 以 15 E τ * 革 肉 y' 除 身 方 ス 世 Ŀ 12 ŀ 13 を承 0) 0 向 主 9 奴 認 隷 人 7 12 と 奴 せ 從 隷 る ч 0) な 心 る 觀 t 人 者 7

III Š 存 蠳 CK 的 す 多 ع 加 0) *L は < 冷 M す 同 τ る 앭 ζ. 5 罠 衣 何 者 τ る。 點 丽 羅 胞 12 利 क 0 ど 食 r 13 义 E L 0 1: 馬 吾 取 当 欲 あ b 认 12 7 於 帝 原 這 得 陷 人 6 E は 携 0) 基 雞 般 理 V 國 \$3 以 L り、人 ば 值 ^ 沓 馬 か る 峒 得 0) 7 切 之 7 0 Ŀ 敎 發 己 0 信 知 社 0 る 受 0 r n 世 r Ŀ 蓬 識 會 仰 最 n ζ 國 惡 塑 * 12 L 15 し 層 階 的 1 大 E 來 मी 事 落 Ø τ 階 12 構 於 人 13 級 τ Ė 刺 8 5 0) 被 級 0 造 τ 3 る 0 根 滅 足 ず、亦 了 し 富 n 0) C 間 0 は Ŀ 亡 貫 15 n りと云ふ。 等 間 あ 悲 得 貧 は 17 ٤ b b け 12 30 訚 0) 傳 底 1: る 他 h 或 12 ح 何 کے 間 播 12 貴 Þ 人 ス 3 沈 す 8 12 否 12 ŀ 大 少 於 賤 說 म् B 人 U (「提 弘 3 v 7 IE 隷 對 B し。 携 4 4 る 布 + 所 主 る 屬 の し 廖 7 思 は せ 義 卑 7 0 標 Z 多 Ë B 1-富 τ L 年 的 B 前 腿 主 濉 行 往 3 n £ し U 概 階 版 の 0 は 75 7 書 ~ h < る 拙 第 ح 級 间 -念 偏 る 區 Č 爲 有 0) 著 办。 淇 中 善 第 Z Ŧi. 别 害 Z ~ め 道 協 1= 行 0 行 六 12 革 は 42 15 Ł 能 r は 意 同 יל 存 鵉 第 1 欲 0) 信 る は 圓 È 義 n 富 の 第 仰 3 + す 工 榧 す 滑 義 つ 相 ス る 八 ス C 七 10 3 る ħ ţ 類 V ^ 節, ١ ک 1 遠 渻 あ 0) は 6 あ 0) 似 る。 對 7 ح 欲 2 は 朋 L 道 b 步 主 す から + þ 望 誘 D) 丽 第 8 義 L る る 之 節 怒 Ĭĵ b * 12 な な 事 **b** 儿 45 **ታ**፡ 信 n 7 陷 ح い 我 **9** 滨 宜 等 祉 仰 Ŀ 迷 何 恶 n る で は 及 烾 會 斯 U, 等 17 要 爏 夫

(二三八九) 豁 眈 原始基督教の社會思想

第八分

四九

py

補 所 8 12 3 於 爲 の 2 初、ひ 11 乳の 0) る 7. が貧者 め る。「加 C 彼 P は 12 悲 12 般 4 n 是 4 せら 出 督 貧 均 等 1n で 敎 拉 を顧 民 する の し るい で ず 的 0) 太曹第二 缺 C いみん事 あ 施 爲 乏 汝 12 めに τ る。(一哥 拾 B 歪 等 爸 施 0) の る 補 軰 E す 法 で 便 で 可多 当 は 林 可 第 あ 则 あ 用 250 多後 U る。 Ļ 智 せ 九十 つたが、彼 から 3 柳 IJ 6 め 故 可ら 書第 h は 確 節) る 丽 であ 8 喜 L 可 12 すい す 九章 规 T É び 斯 n 然 る。 3 T ζ. 定 B 彼 B 5 第 42 L 與 n の 0 亦 同 非 ば 七 人 τ E 72 は 如 第 ず、平 彼 わ 3 非 其 心 7 八 n 人 9 L る。「各々 15 す 章第 等 + し 均 爸 T 3 懸 嘉 募集 0 リン 0) τ v 十 三 : 餘 爲 節 L 單 T 心 され 3 め 怒 12 給 ŀ tr. 十 黑。 13 所 12 ^ Z 5 人 四 **b** ば 6 r 決 智 に n 飾)。 亦 斯 13 中 行 贈 に 12 12 現 り云 < し n 屬 3 るる 13 汝 Ø 如 る 醵 す 等 如 汝 企 旨 々と言 <_ 後 3 3 0 等 0) 那 は E 止 飯 は 0) to 書 徒 敎 述 Z 他 ^ 智 4 會 ~ 餘 鈴 E τ る 得 人 13

多 财 13 の 貨 * ζ. 強 9 句 領 0 有 12 富 18 徴 裕 是 L な 認 C る し 则 奴 5t 0 隷 か で 所 歌 あ 有 書 る。 者 曲 は 及 民 錄 CX 及 >۲ L ゥ 地 び て「穀 IJ Ė 奴 は Ŀ 隷 物 包 勤 1) -勉 r 括 G 碾 を す 成 贬 す 3 b 4: 址 嫺 12 2 は す 歪 て 居 3 口 0 龍 ح た E 同 필. 9 掛 時 實 15 基 < E は n 督 其 新 Ġ 敎 0) 約 す、文、 報 會 書 酬 が、大 4 12 12 0) 働 第 熢 る

め

主

ح

L

τ

貧

困

1

る

Ë

馬 15 現 9) it 3 بح 存 逆 9 亦 ス 3 (Tiberius 90 1-51 嘗 0 ic 殘 L 市 1: O 逆 在 有 忍 Z 題 9 極 13 民 人 智 τ 词 ح 72 然 る め n 7 太 E 各 論 ع T る n 25 人 所 皇 9 Claudius 以 銳 基 12 0) ば 爲 は k す 帝 0) 地 意 τ 督 리 3 汝 權 Ŀ め 及 1-で 12 敎 狐 位 等 n は 0) CK ٠,٠ Drusus لح JT. 支 徙 あ n 總 稅 12 機 꺠 ッ τ 繩 べ て 7 ٤ 9 智 緣 配 罪 t p 居 Nero 3 0 72 腻 納 F b * 者 は 帝 得。 定 間 る チ 諸 から 有 0) 认 其 人 め 權 L 17 12 Germanicus) 國 不 m ~ 彼 5 12 (5 存 U 拘 y 1: は 7 JE. 服 τ 5 ゥ 於 負 彼 る L n n 15 ず、帝 此 H た す な た ス (Tiberius Claudius 3 13. 目 \$2 る 0 等 可 r 3 י על る 波 命 治 गा し 親 偉 返 B 令 國 0 13 Ŀ 民 F 720 善 大 t 神 念 0 智 0) 則 な 13 13 17 12 蓋 行 0) 誸 th 生 3 **b** L る 5 役 彼 3 頒 h 0 存 稅 者 權 3 關 政 螆 爲 n 地 12 係 治 E 1 L 13 枚 12 め は Nero 位 120 納 U 13 L 帷 際 te 家 公 0 7 E. 權 保 的 Æ to 72 L T 加 Cæsar) 及 0) 之 12 鮲 留 Ħ 神 7 使 な 是 0 間 3 從 基 徒 n 僕 逆 ļ す 3 #2 る 1= 等 分 容 統 人 な 3 5 Ŀ は び は 出 12 亦 治 1 爲 敎 0 h 人 命 何 め 亦 努 12 " は は C 徒 丽 を 箏 秘 胂 3 是 息 13 12 る 與 孟 0) め 帝 Ø) 務 る 12 n 1 を 0 義 0 U 納 ₹º 女 は デ 鑆 汝 筵 は 3 務 ん 立 め、課 祭 な 如 彼 で 8 悖 イ n 80 で b 羅 ば 德 は 1: ۲, あ 何 12 す ッ

第十七卷 (二三九二) 論 耽 原始基督教の社會思想

400

8

挪

À.

व

£

人

1:

は

Z

n

E

挪

U

懼

3

可

B

者

12

は

懼

れ、質

بخر

可

8

渚

は

Z

17

Z

缭

第八號

iE.

Æ,

を賞 傳第 總 般 節。 Ø 物 彼 馬 め ~ の 尋 n 1: 0) は 基 τ せ 間 精 猶 最 督 神 は 有 人 闸 12 +. h 太 12 氲 司 大 数 爲 で の 答 章第二十五節)。 人 味 關 0 ح 13 へ て め 江 あ 及 深 す 葛 3 創 12 つ C 長 9 可 始者 藤 准 日く 55 迟 帝 し」と「馬太 3 13 E 愈 邦 £ 所 る 生 E は 0 我 敎 用 ょ 其 ~ 人 妣 から b 者 テ 0 0) 誠 L () 逍 12 П 國 間 傳第二十二章 E 12 丽 め 信 服 は 徒 は 12 し 12 發 h へ、或 此 3 主 C 信 L 73 イ の n 權 7. 入 仰 0 1 爲 工. 72 E N 者 E 世 る 工. め ス 3 く「カ は 40 弘 0 ス に「カ म Ø 第二 對 布 は 反 主 b b 3 す す 0 權 の 叉 1 イ 對 神 لح 者 3 12 + る 12 4)2 ** 者 0 12 た 義 非ず」と。 共 ----办 國 iv w 鲍 務 T る 際 0) 12 0) 彼 E 帝 總 を し 馬 生 貢 此 物 n 王、或 ~ 訛 ч 涯 可 0) は E 0 何約 τ 詞後り 4, 使 傳第 世 0) カ 納 徒 翰 0 CI 7 危 0 1 Ţ 傳第 言 を 十二章 官 は 機 を捉 ザ る 邦 5 ふ汝 激 姖 恶 12 JV, 土 12 人 勵 + 2 於 へ、彼 Įζ मी 等 八 服 ¥. 第 否 せ 7 歸 區 太 罰 主 る 滨 + 總 し E n 别 第三 可 Ø) g 七 L 督 叉 間 K. す T 爲 飾路 9 72 Ŀ. し る ^ 云 善 め る 11 + ラ 蒯 T か ¢ 這 六 瞆 加 0)

一彼

得

削

書

第

二章第

十三千

Щ

節。

斯

<

T

义

た

٠,٠

ゥ

p

0)

心

意

1

1-

は

天

國

12

於

H

ži ()

) M る手 (第六章第二十四 ょ B を n 末 23 意 的 つ τ 亂 13 0 非 見 思 1 然し 段に 7. ゐ 先 で 打 3" は 想 æ. 6 傅 3 あ 立. る th 這 r ス the 依 次 が、恐 ^ る。 9 প্ত る 般 **%** 發 办字 B つて之れ New Testament, 1902, p. 165. T 等 0) 0) 富 漌 G 5 n 述 新 觀 L 極 者 せ 彼 たる 節)を < 作 約 < 冷 12 端 L n は 噩 0 あ 叉 了 對 め を取 は 1 想 約 年 る。 書 12 る して 25 <u>M</u>: 旭 I. 儿 代 0) 옓 傾 得 差 4. 世 ス 壁 ---21 彼 间 發 然 し、貧 别 0 L 年 關 記 1: n * 3 L 12 所 頃 30 L 者 0 B 矯 13 12 者を卑 富 育富 12 7 3 业 は 非 今 JE. 3 を有 發 作 B 敎 3 は し、 非 Þ 叄 め th 確 は 會 0) る 難 ٠,٠ L 黑。 す る G 使 蹈 カジ から ۲ ゥ 切 は め、利 る 者 あ n か 徒 富 ځ 最 0 п は高い 者 る。 涧 12 13 乖 裕 Ŀ 現 初 ح 得 Ŀ 12 る 階 5 敎 世 ゃ 其 0) を貪 攻 13 彼 Ġ 級 基 的 T ~ 0 鐅 經 る n 0) 晋 督 プ 12 720 狀 後 り、奢侈 す 哉 湾 で 通 め Ø 示 敎 態 繼 る 學 旣 富 あ 紦 公 L 然 者 徒 は 12 史 1: 元六 1-5 書と 12 基 0) 8 0) 1: 非 研 安 **う**。 對 3 1: 督 穩 間 す 究六二 流 樂 す + L 鴬 糺 敎 健 12 3 L Ŀ 7 る Ħ 恕 元 團 ___A 12 て、単 / 变 態 年 €. 吾 種 1 銷 13 L 0) < 度 頃 人 對 Bacon, Intro-入 τ V) 17 傾 n は と 13 る 共 L 世 愼 三頁 不 向 ば 看 jν 傳 7 0) 產 紀 重 Ē あ 13 做 力 は 警 0 鍵 な 主 參 る な b K 鐘 る 終 緰 義 3

第十七卷

(一三九三)

腧

鼣

原始基督教の社會思想

ĬĹ.

維 馬 書第 十三章第一 七節)。 泃 12 ٠,٠ ゥ п は 政 府 r U τ 泖 0) 意 芯 E 執 行 可

機

關

ح

看

做

して.

疑

は

13

ታን

9

72

0

Ţ

あ

3

C B る 然 b 0 す ኤ 岩 **،**د τ 畏を 結 ग 0 12 るな L T 〈、完 人 婚 3 し。 報 なり、汝、權 ゥ 惡 あ 0 め 非 n 的 Ŀ 间 全 ずし 生 意 る 行 0 家 13 渚 法 涯 義 第三、四、五 は、 庭 垫 る 12 な て 不 Ŀ 12 6 K 変が þ ッ 送 於 畏 關 畏 L b П て 法不 n す n τ 鸿 節。 は 2 法 故に ţ "ئ る 敎 変 R 0 る 彼 1 從 思 會 0) ۲ 0) あ Ŀ 值 之 n 順 想 E 通 < 間 n 9 12 は بح 15 は 12 超 建 牒 12 ح IE 徒 r 3 著 設 E 服 行 L 然 欲 L Ġ L 者 华 總 は へ、唯 12 3 ١ٍ٢ ኢ < 72 0) る 双 乎、唯 べ n な る 者 近代 爲 8 τ 12 5 ф は た r め 翆 0 0) ح ば 怒 操 だ善 的 0 1= で L 離 5 人 E. T で 17 存 あ 婚 4 12 ず、神 を行 あ 相 緣 する。 あった。 る。 なら 法规 1= る。 和 5 致 반 τ 0 へ、然 有 (Emory S. Bogardus, ば 僕 Ļ は る 總 0 変 法 其 12 ~ 夫 3 Ġ 司 法 は 0 ば 0 1 嫭 服 n は は 要 福 全 0) D\$ ば 彼 蓉 ıЕ は 音 然 E ず、良 淵 夫 濉 řl 行 見 を 棄 ŧ 媥 婚 Ŀ L 0 承 圳 13 心 畏ゃんに 办多 法 行 b 認 در ة 4 A History of 涨 规 0) 15 š 褒 5 ty. E < 0 緣 者 非 爲 3 之 n 上 幸 ず、忠 b 12 獲 め 得 總 n 福 に τ 13 ど 超 な 衍 存

Social Thought, 1922, p. 142.)°

書 し 狀 v 25 Wi 食 0 叙 T 圣 る は 故 < せ 食 業 奎 言。 よっと 浉 以 で 0) 物 及 τ で b あ 如 13 し、行ない び あ 舊 言ふ せ る。 丽 乏し 3" 約 る。 Ġ 基 吾 督 3 0 ilij 人 か 粉さめ मी も、維 人 0) 吅 < 6 あ 5 を指 は B 律 h b h 此 ず 法 眞 制药 ٤ ば に、汝 して と 云 宗 0 で 書に 死 8 書 あ 敎 L 身 等 業!! と る。 1: £. は 於 12 12 0) 0) 單 ţ τ 要 中 る 12 言 b 叨 義 は b す 彼 C 信 £ 治 で 舊 る n 0 四 當 仰 ے あつて、 約 鉄 13 物 腈 + す بح り云 1: 時 仑 ----化 富 る 13 與 對 华 共 1: < 々(雅) め 0 V. て、心 公 0) 止 猶 3 其 ず 者 敎 守 Ġ Ø) 太 ば 各 ħ; ず 削 會 る 蒙 敎 書 何 版 第 ζ, 空 可 L À, 12 0 自 É τ. 往 L 所 命 益 耳 < は 信 0 协 章 カコ きて身を暖 義 理 仰 第 ŧ Þ Ç, あ 諭 12 人 1 3 0 + 5 12 エ・ラ 伴 は 也 1 四 h_{o} J: 粉点 Ø) は 必 節 £ ゲ 律 L ず 爸 以 信 め 謬っか 鲍 法 b 矿 志 指 F 仰. T 12 < る 督 し、雅 ど Ø 1 まで 善 非 =1 12 說 亦 業 78 ず 行 12 於 <

七

z

怠

り、貧

し

B

同

胞

を

蔑

视

l,

之

n

Z

强

搾

す

3

0

倾

向

あ

b

事

宜

Ŀ

認

め

得

る

0)

で

đ)

Z U 斯 tz < p's τ ら、吾 基 督 (一三九五) 人 敎 は は 次 敎 第 會 論 12 諸 敎 Ŀ 父 層 0 階 澗 記 級 始其警数の計會思想 12 述 す 浸 狮 る 所 ¥. h 71 ح 徵 L す て、第 3 0) 倾 世 [ii] 紀 を 有 1: L 於 T Т. す 烷 9 5 基 72 督 જ

正

敎

は

第八號 五四

夫れ 以 利 な 0 12 (Kent, op. cit., p. 322.)° をし 辦 卑く 0) 現 7 益 3 < 世 餐 觀 < 日 期 せら 出 Ŀ C 0 六節 及 n は、富 で び來 圖 彼 如 非 < る ゝ 事 n 參照)。「卑 する忠質 1 難するの 焦^{*} 共 训 自 者 身の 0) 0) は 爲 幸 n を喜樂 其 なる す所 は、草 き兄 福 歪 高 Ø である。 獅 12 华 對す 愚 の利 は 弟 執 とせよ。 ば 枯 事 11. 15 にし n 職 益を 斯く 其 8 3 ч. 家 彷 12 0 て 己 共 らし そ 目 0 督 爲 高 0 12 的 は 如 < 權 き数 將に n 花 よつ E 4 め とするど 先 は 5 誕 h て、古 旨 草 ድ 落ち、其 る 渡 の根 の花 ġ. す 1 る 3 事 0 歲 ん。 。 0) 基 し 柢を成 の美し r Ġ .T. 喜な終め 督教 < 如: サ 0 同第一 义 (T ゥ È E せる ح 的 72 あ 0) 容消 過ぎ 沚 せ 3 原 如 章第九 < よ。 狸 B 會 介雅 ゆ、富 で h 0) 唯 的 どす は 富 各書第 だ あ 圞 富 め 紅 體 85 る者 n る 횇 0) を有す + Īî. ば 最 者 0 彼 b 13 は 章 良 節。 9 亦 Ħ 食 0)

三章第二十八節以下參照、中 何 Martin Luther は「雅各書」を輕じて「藁の書簡」と名 Ø 盆 ウロの「雑馬 ילל あ ん、信 書が専 仰 豈に之れを救 Ġ = 救はるゝ ブ 35 假 ኢ は 令 ¥ 行業 U 得 Λ h に據 É や。 6 付け、使徒 らず、 若 信 U 仰 信 兄 あ 仰 0 9 書 12 ح 姉 妹 言 依 に非ずと 31 0 太 8 لح 亦 もない 裸 敎 ጲ Ě 1. Į, 13 な 張 反 τ < 日 し、第 h

b は て高 3 1 ح 歌 所 4 領 * ر ا ス チ 至 × る ス (Justinus) 0 徑 路を愛 與ふ」と宣言 は せ 福 3 音 哲 書 人 Ø 諸 は 个 章 句に や吾人 訴 þs へて、凡ゆ 共 同に る他 有 す 0) る b 所 Ø 0 1: B 儗 Ø)

は之 る。 H 人 0 是 産 ਣ を生じて、第 4 北 を し 15 形 第三 委 0) n 從 奎 態 0 τ 他 を するに 2 所 つ 智 增 世 所 0) 7 有 7 以 加 紀 有 所 T 財 す 乏せる總べての 亚 せ は L 行 は る Æ 論 歷 敎 3 保 基 は 17 b つ 0 會 Ш 管 督 の t2 0 \$1. 就 利 到î. 内 す の 敎 12 \$ 亚 Ħ 12 る 3 0) C 徒 存 を示 0) 於 者 は 0 で で 生 V " 1. 3 あ 者に 前 あ ф る v し 揭尘 非ず り、基 1: τ る 及 义 下 L が、衝 び死 わ ン 層 9 L 督 る ŀ ス 階 ч τ 敎 (Titus 後 1 火 級 所 讓 徒 敎 0) ~~ 富 的 有 渡 が 寄 會 ス 者 影 Flavius す 善 0) y 0 進 した。(Apologia, i., 15.)。 響 は Ġ るも 私 な 所 は 其 か n る 有 初 有 の 徐 Clemens) ので 權 る。 を以 め 献 は 々に減じて、貴 論參 不 金 豽 7 ある」と。 Mi 動 錢 爸 は)。 眞 B 産. 及び 增 な を 所 E 加 b 有 くご然れ 包 し、任 灭 (Pædag. III. 6.)° مح بح 含 0 族 は 認 ġ-意 他 的 何 ば る t 0) 1 傾 だ。 ŋ I. 财 動 敎 间 4 會 產 は Œ から 富 で 9 善 物 12 着 者 あ 12 件 \$ 财 K

L て派 丽 第十七卷 U 認 7. せ 第 G 四 (一三九七) 3 世 紀 × 12 12 至 Æ 論 2 つ て数 72 說 會 皇 原始基督教の社會思想 帝 0) 運 = 命 ン ス は 著 Ø ン L チ < 變 X ጻ (Flavius Valerius Aurelius Constan-化 L 72, 基 督 敎 は 今や 圆 敎 حح

第八號

五七

r

7.

ス

使

る 認し 類 جج と稱 の私 が未 仰 (Renan, Marc-Aurèle et la fin du monde antique, 1882, p. 602.) ソソツス (Marcus Aurelius Antoninus) の時代に 徒 認 似 0 ナバ 望 時 め てゐ 爲 せ 護 L だ貧民 有 代 4 得 る 書」及 め てゐる。 5 誹 權 1: 3 1= b ない。マー の 論(其 試 れて の 0 能 危 び 2 で の宗教であり、教 で 者 險 ふ わた。(音 G あ で あ U は n る。 ち 富 あ つ に引 *†*2 プリエ ると ኟ 72 敎 力 る (G. P. Fisher, History of Christian Doctrine, 1899, p. ス・オ 敎 特 17 會 人が「國 用 考 拗 'nζ 養とを 1 殊 せ 6 1 所 ヌス 0 會 る τ ず、彼 y 有 共 民 ያዩ 凡 ゐ 有 y 者 0 經 循ほ 4 產主義 す 72 ° n ウス لح 所 紦 濟 る は 錼 言 雜誌 大體に於て下層階級 元 上 (ibid., pp, 402, 592) 參照)。 基 0) L は 層 督 思 < 於てすら 長 第三十二卷 百 階 敎 想 く基 其 年 Joseph Ernest Renan 級 徒 は Ø 0 を Ø 幾 督教 利 頃に 多 败 敎 信 潤 引 0 理 徒 E 成 第 的 官 點 せ を O) 享 n 四 祉 んこ 斯く 以 界 17 财 の施 有 h 號 會 於 T は 進 せ حح 所 0) 8 7 帝 τ 未 は る 載 推 廽 設であっ 第二 r は 基 r 半 國 þ\$ 定 捌 想 52)0 终 0 督 基 財 爲 7 世 稿 的 世 福 敎 め 督 Ì 產 め 5 乖 形 72 糺 利 で 0) 0) 力 7: 12 n 態 圳 ŀ ス・オ 1: ح 敎 0 灭 あ 得 とし くて 事質 D Ì E で 於 統 n つ 9

派

12

72

ح

(R. Rainy, The Anzient Catholic Church, 1902, p.

, ('05

「 殉 敎

者治

しく

は、哲

學

者」と

呼

あ

け

8 गां 産 120 决 は 上 L 0 期 L 經 r 業 層 72 人 待 τ 齊 的 有 僧 配: 17 沚 ح 生 す 院 會 共 z m 樂 習 會 活 3 同 は U 雕 ب س 1 主 0 主 宜 級 T 8 義 義 12 É 根 ح 0 敎 沚 宗 13 希 的 本 0) 會 會 望 覾 敎 的 < 典 部 は 的 常 型 念 改 的 Š ح 僧 衝 13 * 造 i-8 基 爲 院 動 比 發 墳 與 8 礎 つ 生 r す 遂 求 慕 L 0) 12 活 担 n 3 Ŀ 4 idi め 0 * む ば 1: L W: 彼 B し 以 ح 扩 建 τ 此 τ ح 0 方 設 Y す 1: で 僧 0 3 其 世 b 安 あ 得 t) 院 る 0) 2 6 團 0) 0) 0 住 IJĵ. 13 歡 で 12 體 衝 n 業 0) D 宗 喜 動 は は 地 0 9 ح 8 丽 敎 土 120 13 Ŀ 悲 b 感 篼 的 地 しっ 部 夏 事 め Li. D 及 彼 3 ح t. る 2 人 機 n び 6 11 力; 10 隷 等 نے 7 h 3 全 高 此 ょ 可 比 採 は 然 3 2 用 僧 から 6 0) 8 猟 世 13 ئار" 尼 7 地 所 L ĬĨ. 界 皷 有 6 72 0 3 Ł 義 1: 15 舞 す 團 ¥ 對 體 ح 永 彼 信 る せ 傪 化 す n ず 續 5 道 Ŀ 12 す る 箏 組 的 僧 る る 至 る 图 は 者 都 は 織 0

0

で

あ

3

3 E 自 有 然 第十七卷 由 し L 民 T 75 かき の 2 12 文 S (一三九九) 化 基 希 督 的 生 臘 敎 人 は 活 論 to は 他 可 方 物 訊 質 能 12 的 於 な 原始基督教の社會思想 富 5 7 經 را 智 以 濟 \$p 生 μJ T à 活 目 機 的 を 會 醱 13 對 酵 E 與 g. 世 ふ 3 L 3 J. ď 4 段 る 1: 0) ح لح 於 看 舰 1 做 12 L 著 गंग 大 彼 13 那 る n 50 缭 於 影 響 Δi け

五九

(一三九八) 原始基督教の社會思想

五八

動 唯 tinus)の改宗の は 叉 3 敎 化 髙 層 國 證 n ナご __ A. 0 敎 72 **%**: 徒 ŧ 階 L 0 12 0 W 結 會 Jţ 爲 は 72, 級 僧 全 3 み 8 果 向 敎 ح 0 め 臓 B त्ता 3 な で 42 國 旭 12 曾 (Louis Wallis, Sociological Study of the Bib'e, 2nd. ed., 1913, p. 247.)° 10 \$\$ 民 ラノ 5 720 家 死 あ 源 田 から L 在 Ø 12 す 0) ? لح 聚 12 園 . < る 第一の 對 0 法 され 彼 12 0 於 敎 42 皆 L 者 勅 律 方 融 的 T 退 な て は 令 Ŀ が な 此 合 基 祉 隱 公 E 洪 は 影 0 質 る 0) 1 會 督 し 额 然 0 宗 響 認 際 12, 生 世 b 敎 ۲. 之れ Ø 中に W 敎 म 的 活 12 生 的 順 数 産 團 E 效 12 於 U M で rþ 會 12 Ŀ 體 郥 算 憧 果 け 72 世 せ あ 加 財 彼 太 0 ^ 憬 る Id h る 3 的 入 產 會 所 72 可 IJJ 12 個 准 敎 としつい ょ 0 l 1= 有 3 る t2 ° 1: 人 tz ° 政 會 b 保 歋 地 B ح 非 的 治 8 * 管者 納 8 2 0 祉 各 特 昌 Ħ 譅 ż は す 承 C 會 人 由 な 3 19 あ ኟ は る 認 敎 あ ٤, 的 は る 3 異 付 し 截 0 L 0 會 で 遁 自 帲 敎 < E τ 然 權 120 0 72, 己 あ 世 嫌 制 3 的 俗 僧 利 領 2 12 表 的 忌 で 僧 界 俗 三百 E Ξ 地 j 72 現 敎 あ 院 L 13 15 認 Ħ 収 つ 8 會 C 生 9 於 分 め + 得 然 T 奪 12 湉 淸 35 り †2, 十一 割 ---E Ø 永 は、 對 淨 3 る 也 年 對 個 遠 n す 是 制 な 上 5 Ŀ 年 包 t 0) 12 る 欲 3 12 多 層 n 層 0 以 C b 天 3 苴 鸰 Ė 數 階 生 tz 階 勮 7 ĮÏ. 是 惠 人 然 浝 0) 浯 0 級 級 介 娺 な n 8 4 Ą 的 ረ E 基 25 る 共 \$ は 世 鹞 確 は 区 は 0 送 督 间 0 Ġ 下 帝 保

0) 方 する 造 法 12 屬 ス ('Aθavhotos) 說(す 設 1: G 0) るこ 會 L ると 令 An Essay on Western Civilisation 對 思 0 n 議 共 U 辩 لح 危 L 12 ł: 0 做 间 機 は 於 1 3 的 下 す 樣 其 111: 傾 r τ ф 位, 8 0 M 界 の 脫 嚴 向 Ø) 12 の、並 本 ち前 頂 处 は 却 42 然 ĬĹ 性 3 上 非 非 0) す r つ C 者 愈 ζ. る 0) ず、父神 誸 B 有するとす 1 0) 嚴 A I 智 せ 基 0 異本質説 Z 間 得 买 5 な 督 價 ح E 12 な れ、那 3 0 値 全 低 0) 3 ح III ₽, 然 ع 下 で 事 る 蘇 8 的 its economic aspects, Mediaeval and Modern Times, 1904, Z 17 专面 L あ 宜 同 基 本 を 對 認 T. 質 る。 督 性 で 固 聊 U U は「眞 も前 0) 15 đ 執 τ る。 3 E r b 賛 す ے ラ 同。 高 0 咖 3 す 1: 本で ፘ 12 揚 1 基 0) 8 ļ る 質說 E し、斯 2 1 督 眞 るこ 6 0 拒 C が 敎 裥 ス Īij 否 < と y 創 說 1 は 西 b す 主 か τ. 为多 玆 造 し 組 其 る 叉 て、生 張 根 12 決 Ξ せ 0 15 72 5 據 す 百 共 定 聊 存 單 3 8 0 世 *L 格 n L 13 得 1,2 叉た b 5 贞 72 十 た。(W. Cunning-人 のツ 3 於 諦 n 3 Ħ. ア Z 間 12 智 1 b 华 勝 的 失 11 至 Ŋ 父 0 12 な 利 ナ)jiili *L は 1-ケ る r 從 3 12 h シ L 7 B 東 見 從 屬 オ T 0)

つて 羅 民 第十七卷 腡 族 0) 帝 的 境 國 (1回回1) 界 主 義 E 撤 25 Ŀ 去 論 t L b 72 訛 は る 世 方 原始其督教の社會思想 界 法 的 12 權 又 力 72 0 基 形 督 成 敎 1: の 成 ょ り、下 就 せ 3 より 所 0 は 好 私 0 利 > Ø 训 勢 型 力 ጀ 12 L t

pp. 7-8.)°

第八號

六〇

0)

は 1: 13 0 0 人 其 人 为; 相 测。 支 人 可 柳 加 理 敎 意 0) 35 12 꺠 貌 配 館 間 t は 性 識 旨 渚 選 0 性 12 悲 性 0 5 る 的 的 13 12 た「國 民 靈 0) 於 督 1. 鎮 生 ġ 常 J 0 關 中 观 示 T 敎 嚴 鑆 n つて 0 B 習 L 0 12 胍 表 0) す に劉 民 從 ع 0) τ 的 最 鑆 12 現 敎 經 る 9 L 表 有 بح 從 U 高 収 旨 す して 濟 信 ٦. 示 τ 看 屬 す 15 τ 9 る は 念 왩 叉 認 做 A は る る 身 τ 12 此 とは 誌 挪 たされ S め 3 從 8 成 適 的 第 曲 Ø Ġ n 前 n 0) 員 不 當 9 人 Ξ 物 3 る †2 ° 72 12 で 12 滅 13 τ 生. 質 + 3 ح 7 る 比 あ 就 0 る 遙 界に 0 卷 大 共 12 L 0 而 確 9 v 媒 かっ 最 第 な E 歪 み して 7 25 τ 固 13 介 __ 高 劉 3 水 n 了 逝 主 12. Z E 價 敬 號 Ų 遠 Ġ る か 人 人 張 3 n 給 值 肵 意 生 で 办。 ず 間 間 12 せ 希 與 E 12 と、人 載 產 あ 不 故 其 0 8 3 望 th 進 關 交 拙 り、之れ で 理 滅 0. L t E る め 稿希 す 易 間 あ 0 程 想 T b 提 ح 72 る 0 0 る 存 度 及 0) B 供 عج 0 希 臘 業 8 本 體 B び 人 爸 C 更 L 臘 思 務 性 同 7 ح 增 仰 12 間 720 主 あ 想 人 1: D3 貿 ラ L 加 望 0 高 30 張 家 本 0) 對 13 て、文 1 L 1: 至 8 斯 L 舰 0) す 質 る オ 72, 對 高 見 た。位 降 < 富 念 る 的 b ス ("Apscos) 説(址 12 す 解 生の 0 7 と 10 15 彼 0) 超 濫 る 愈 E 志 其 政 n 自 L 物 嚴 凡 活の 督 敎 0) す 箏 治 非ずし 然 人 質 は 肠 敎 理 超 る 的 0 的 間 基 的 る は 敎 は 自 鮂 態 な は 0 耻 浴 人 希 型 る 人 然 度 列 單

敎

生

臘

は

體

的

1

道二 然 體 哲 ح 7 2 局 tiatorium 相 p. 225.)° 3 は 行 學 樣 做 彼 る 無 統 一致 な 最 爲 七 12 す 1= ζ, は n B 效 制 12 關 九 人 基 0 I す Z 貨 な 0 因 及 L 間 見 皷 督 本 缺 大 然 る る 以 aurum coronarium T 乏 二八〇二 r 解 舞 敎 家 な 統 U 所 ð 新 D, は L 0) y; 及 制制 る 了 から 0 12 T 叉 以 敎 び 涮 缺 办 D5 で 大 矿 72 之 Ċ, 物 7 旨 勞 陷 害 で は 九 る 質 ___ 勤 働 で 維 は n は あ な Æ 義 身 馬 的 勉 直 者 ح あ 其 አን 9 務 物 *(*) ح 接 间 75 0 つ の 9 12 の 伴 遺 活 12 精 制 樣 25 等 於 12 九 觀 0 任 動 個 け 71 13 度 0 帝 六 Ė 念 を 3 人 y 3; 3 然 る 如 政 共 を誘 頁 12 世界的 人 更 0 等 る 損 2 和 私 時 參 5 12 13 赴 前 害 U 課 化 的 政 脈。 入 1: נלל 9 12 E 後 < 目 睛 金 0 U , **&** -1 ALC: 與 抑 的 17 0 羅 代 權 新 72 觀 分 め 力 窮 制 12 至 12 ^ 壓 臈 た、然 12 0 27 12 0 す 12 於 對 0 迫 12 大 打 承 0) 形 前 C 0 H る L 於 1 3 Œ 3 認 で 途 C 成 で は Ż 0) 7 I <u>+</u> 敎 す 1 8 あ r 傾 殆 あ 多 地 9 は は る。 基 私 る 展 費 h る。 向 7 4 方 單 . 年 督 13 開 ど 们 あ 且. は 0 ·促 な 版 敎 歪 し、永 利 人 何 浣 洧 b 少 9 進 世: る 拙 は 5 等 13 濄 稔 し < 廢 43 著 Z 君 遠 L を 引. 0 維 度 V) B は ح 主 協 n 以 0) Ø 質 强 餘 13 馬 n B 私 的 同 Ŀ 葡 12 7 譋 12 地 帝 L 的 72 自 主 健 不 望 存 Ŀ 國 資 K 7 負 義 用 占 殘 滅 1 す 本 12 Mi 曾 は を 代 す すこ 15 ţ る。 nego-水 於 家 b 永 0 る 0 つ < H 0

郭八號

第十七卷

論

眈

原始基督教の社會思

六三

(この回じ)

τ 看 做さ る 可きもの で あ る。 基 原始基 督 敎 一督教の社會思 は 雷 だに 希 臘 人 ኟ 六二

嚴 42 於 切 個 を 停 個 2. 單. 0 别 依 梦 て 0) 人 羅 必 る G で E 12 る 取 は 12 價 12 馬 亚 ず、実 あ 國 拒 8 得 價 値 對 0 ح 足 2 家 否 0 す 値 E i す 帝 る †2 0) L 0 で る な 拒 τ 國 る b 全 臣 72 ح あ \$ 否 胂 主 0) 0 體 丽 民 る 做 る 人 L 的 點 義 ģ 13 の ح 12 事 間 斯 12 價 12 非 L る 基 み 0 基 カッ < 値 對 於 43 督 なら T 沓 謕 其 7 τ \$ E L 敎 0) 方 敎 뵢 0 兩 附 前 る T ず、自 は 人 面 は 12 無 極 UL 基 者 彼 Į 格 12 亦 L 價 煰 L 督 0 n 0) 0) 於 由 τ ح 値 0) 1112 敎 如 11 見 τ 眞 民 人 Mi な 間 0) 0 < __ 解 價 0 ど 類 છે る 1: 場 12 12 0 み B 非 8 傲 個 助 合 重 其 客 依 承 考 自 0) 然 性 搖 12 鯣 觀 0) n 認 察 由 意 12 E U は 係 步 ば、年 的 44 せ 民 る 識 抛 つ 自 は を な 3 る 老 的 思 薬 1 椠 前 進 る 齝 Q) 礼 ፘ 譋 想 す あ 的 者 U 神 點 8 12 若 和 中 3 る 1= る かゞ 的 る人 財 13 حح (] 13 i 總 竗 ت ح 內 產 於 猶 0 兩 由 反 ~ 3 容 B 7 間 區 太 者 し、後 0 τ 場 ts Ŀ 人 前 0) 人 別 爸 て 3 0 合 以 間 者 價 Ŀ と 結 浉 者 人 Ø 12 τ 15 ţ 值 Ø Ø 合 は、 間 0) は 0) 滿 眞. E 間, 9 亦 女 子 彼 17 傲 で 25 0) Ø 挑 12 13 る 12 對 然 n あ る 價 進 頀 非 存 る 0 自 Z L る。 > 値 83 する す 認 事 0) L 身 T 智 る る L 質 12 飲 這 b 典 區

Hough, vol. i., 3rd. ed., 1893,

で

あ

つ

†?.

(Johann Eduard

Erdmann, A History of Philosophy, Eng. trans. ed. by Williston S.

			ħ		
			J		
ESSCRIPTES	WARREN ST	ransaras par	PA 300 Base 4123	NEW STREET	
●宴	冷	₽			B
會	V.	ル せ		H	應
便 料	1 : E	スと		illi	胾
単と	1	2 	*	V)	塾
菓子は	紅茶	ダ 水		Ø	(A)
御存じの美味			記言		
味			Control of the contro		

第十七卷 (1四(四) 溫 왮 原始基督教の社會思想

六四

續 τ せ Ū 彼 n め、女性 等 爸 耐: 的 會 奢 0 侈 負 Ø) 擔 滿 72 足 B 12 吡 L り、若 to 3 L 水 < 繑 は め 懶 12 惰 物 質 P 的 鄙 富 0) を濫 F 民 費 17 する 麵 麹と遊樂とを與 智 是 認 す るこ

とを 得 な አ ነ 9 なっ 舊 世 界の富 は 斯 < 0 如 < L τ 浪 費 せられ た、諸領 城 は 刼 椋 せら

n 浣 廢 th L め 5 れ、其 の富 源 は 嗣 發 せられずして寧ろ空 湖 ·tj· L めら \$2 た。而 して基

督教 3 と 得 0 13 傅 \$ 道 9 師 12 は 裥 3 0) 檠 Thomas, 光 ጀ 人 Summa 間 0 善 福 Theologica, ح 智 顧 3 Secunda **3**" る 凡 w Secundae, qu. る富 の使 用 Ixvi. art. 2, 7; 12 担 論 せざ

Cunningham, op. cit., Ancient Times, 1902, p. 192; Mediaeval and Modern Times, pp. 8-9. 前 拟

抽稿二八九頁以下參照)。

完

闸 記 水 篙 11 氽 þ. 水 at it 郛 ti 彸 第 五、六 號 1: 揭 ij すこ る「原 始 基 督 敎 Ľ 社會 [8] 題しい 紨 福

Z Ų τ 赳 ŢŢ. Q ろ P のであ る。